



2022年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2021年11月8日

上場会社名 株式会社帝国電機製作所 上場取引所 東
 コード番号 6333 URL <http://www.teikokudenki.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長執行役員 (氏名) 頃安 義弘
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役常務執行役員総務本部長 (氏名) 村田 潔 TEL 0791-75-4160
 四半期報告書提出予定日 2021年11月9日 配当支払開始予定日 2021年12月2日
 四半期決算補足説明資料作成の有無：有
 四半期決算説明会開催の有無：有（機関投資家・アナリスト向け）

(百万円未満切捨て)

1. 2022年3月期第2四半期の連結業績（2021年4月1日～2021年9月30日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 親会社株主に帰属する 四半期純利益 | |
|---------------|--------|-------|-------|-------|-------|-------|----------------------|-------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % |
| 2022年3月期第2四半期 | 10,179 | 6.1 | 1,063 | 15.1 | 1,237 | 24.7 | 802 | 4.4 |
| 2021年3月期第2四半期 | 9,598 | △16.9 | 923 | △47.5 | 993 | △43.2 | 768 | △31.5 |

(注) 包括利益 2022年3月期第2四半期 1,355百万円 (102.2%) 2021年3月期第2四半期 670百万円 (△29.0%)

| | 1株当たり 四半期純利益 | 潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益 |
|---------------|-----------------|----------------------------|
| | 円 銭 | 円 銭 |
| 2022年3月期第2四半期 | 41.40 | — |
| 2021年3月期第2四半期 | 39.06 | — |

(2) 連結財政状態

| | 総資産 | 純資産 | 自己資本比率 |
|---------------|--------|--------|--------|
| | 百万円 | 百万円 | % |
| 2022年3月期第2四半期 | 36,760 | 29,252 | 79.1 |
| 2021年3月期 | 35,631 | 28,834 | 80.5 |

(参考) 自己資本 2022年3月期第2四半期 29,064百万円 2021年3月期 28,668百万円

2. 配当の状況

| | 年間配当金 | | | | |
|--------------|--------|--------|--------|-------|-------|
| | 第1四半期末 | 第2四半期末 | 第3四半期末 | 期末 | 合計 |
| | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 |
| 2021年3月期 | — | 18.00 | — | 18.00 | 36.00 |
| 2022年3月期 | — | 18.00 | — | — | — |
| 2022年3月期（予想） | — | — | — | 18.00 | 36.00 |

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2022年3月期の連結業績予想（2021年4月1日～2022年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 親会社株主に帰属 する当期純利益 | | 1株当たり 当期純利益 |
|----|--------|-----|-------|-------|-------|-------|---------------------|-------|----------------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 円 銭 |
| 通期 | 20,900 | 5.0 | 1,680 | △25.8 | 1,830 | △27.2 | 1,280 | △44.9 | 66.58 |

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
新規 ー社（社名）ー、除外 ー社（社名）ー

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

| | | | | |
|---------------------|------------|-------------|------------|-------------|
| ① 期末発行済株式数（自己株式を含む） | 2022年3月期2Q | 20,440,038株 | 2021年3月期 | 20,423,438株 |
| ② 期末自己株式数 | 2022年3月期2Q | 1,278,876株 | 2021年3月期 | 784,654株 |
| ③ 期中平均株式数（四半期累計） | 2022年3月期2Q | 19,395,125株 | 2021年3月期2Q | 19,683,460株 |

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料P.3「1.当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

| | |
|------------------------------|----|
| 1. 当四半期決算に関する定性的情報 | 2 |
| (1) 経営成績に関する説明 | 2 |
| (2) 財政状態に関する説明 | 2 |
| (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 | 3 |
| 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 | 4 |
| (1) 四半期連結貸借対照表 | 4 |
| (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 | 5 |
| 四半期連結損益計算書 | |
| 第2四半期連結累計期間 | 5 |
| 四半期連結包括利益計算書 | |
| 第2四半期連結累計期間 | 6 |
| (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 | 7 |
| (継続企業の前提に関する注記) | 7 |
| (株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) | 7 |
| (四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用) | 7 |
| (会計方針の変更) | 7 |
| (四半期貸借対照表に関する注記) | 7 |
| (セグメント情報等) | 8 |
| 3. 補足情報 | 10 |

1. 当四半期決算に関する定性的情報

（1）経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間における世界経済は、新型コロナウイルスワクチン接種の進展に伴い、経済活動が正常化に向かう中で、欧米、中国等を中心に景気回復が継続しており、当社グループの主力であるポンプ事業を取り巻く環境も、主要顧客である化学業界において、特に海外での設備投資が再開し始めるなど明るい兆しが見えつつあります。一方、世界的な半導体不足に加え、東南アジアでの変異株による新型コロナウイルス感染再拡大によって生じた部品供給不足が各国の生産活動に影響を及ぼしつつあり、当社グループにおいては、特に自動車の減産により、電子部品事業が影響を受けております。

このような状況を受け、当社グループの当第2四半期連結累計期間の売上高は、10,179百万円（前期比6.1%増）となりました。利益面につきましては、主にポンプ事業の中国市場における売上の増加により、営業利益は1,063百万円（同15.1%増）、為替差益17百万円の発生等により、経常利益は1,237百万円（同24.7%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は802百万円（同4.4%増）となりました。

セグメントごとの業績は、次のとおりであります。

（ポンプ事業）

ポンプ事業は、日本市場、東南アジア市場等が減少したものの、中国市場において主にケミカル機器モータポンプが増加したこと等から、堅調に推移しました。

その結果、売上高は9,168百万円（前年同期比4.9%増）、連結売上高に占める割合は90.1%となりました。また、営業利益は、人件費、研究開発費、輸送費等の販売費及び一般管理費の増加により、1,026百万円（同1.0%減）となりました。

（電子部品事業）

電子部品事業は、売上高は761百万円（前年同期比17.9%増）、連結売上高に占める割合は7.5%となりました。また、営業利益は、当第2四半期連結会計期間において、自動車の減産による影響を受けたことから、3百万円（前年同期は158百万円の営業損失）となりました。

（その他）

その他は、売上高は248百万円（前年同期比16.5%増）、連結売上高に占める割合は2.4%となりました。また、営業利益は、売上は増加したものの、粗利率の悪化、販売費及び一般管理費の増加により、32百万円（同28.1%減）となりました。

（2）財政状態に関する説明

（資産）

当第2四半期連結会計期間末における流動資産は25,962百万円となり、前連結会計年度末に比べ1,077百万円増加いたしました。これは主に現金及び預金が1,217百万円増加したことによるものであります。固定資産は10,797百万円となり、前連結会計年度末に比べ51百万円増加いたしました。

この結果、総資産は、36,760百万円となり、前連結会計年度末に比べ1,128百万円増加いたしました。

（負債）

当第2四半期連結会計期間末における流動負債は6,319百万円となり、前連結会計年度末に比べ602百万円増加いたしました。これは主に支払手形及び買掛金が473百万円増加したことによるものであります。固定負債は1,188百万円となり、前連結会計年度末に比べ108百万円増加いたしました。

この結果、負債合計は、7,508百万円となり、前連結会計年度末に比べ711百万円増加いたしました。

（純資産）

当第2四半期連結会計期間末における純資産合計は29,252百万円となり、前連結会計年度末に比べ417百万円増加いたしました。これは主に利益剰余金が487百万円、為替換算調整勘定が516百万円増加したことによるものであります。

この結果、自己資本比率は79.1%（前連結会計年度末は80.5%）となりました。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、2021年5月10日の「2021年3月期 決算短信」で公表いたしました通期の連結業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

| | 前連結会計年度 (2021年3月31日) | 当第2四半期連結会計期間 (2021年9月30日) |
|----------------|-------------------------|------------------------------|
| 資産の部 | | |
| 流動資産 | | |
| 現金及び預金 | 12,576,074 | 13,793,250 |
| 受取手形及び売掛金 | 7,386,696 | — |
| 受取手形、売掛金及び契約資産 | — | 7,466,949 |
| 製品 | 1,382,086 | 1,551,800 |
| 仕掛品 | 1,377,566 | 1,632,490 |
| 原材料及び貯蔵品 | 1,547,272 | 1,564,511 |
| その他 | 1,075,172 | 489,181 |
| 貸倒引当金 | △459,877 | △535,532 |
| 流動資産合計 | 24,884,992 | 25,962,651 |
| 固定資産 | | |
| 有形固定資産 | | |
| 建物及び構築物（純額） | 4,469,219 | 4,350,182 |
| その他（純額） | 3,898,627 | 4,104,212 |
| 有形固定資産合計 | 8,367,847 | 8,454,394 |
| 無形固定資産 | | |
| のれん | 160,129 | 80,064 |
| その他 | 219,508 | 192,949 |
| 無形固定資産合計 | 379,638 | 273,014 |
| 投資その他の資産 | 1,999,379 | 2,070,501 |
| 固定資産合計 | 10,746,864 | 10,797,909 |
| 資産合計 | 35,631,857 | 36,760,561 |
| 負債の部 | | |
| 流動負債 | | |
| 支払手形及び買掛金 | 1,869,230 | 2,342,273 |
| 短期借入金 | 320,000 | 300,000 |
| 未払法人税等 | 298,244 | 335,546 |
| 製品保証引当金 | 28,926 | 32,417 |
| 賞与引当金 | 502,781 | 490,418 |
| その他 | 2,697,588 | 2,818,936 |
| 流動負債合計 | 5,716,771 | 6,319,592 |
| 固定負債 | | |
| 長期借入金 | 73,990 | 73,990 |
| 退職給付に係る負債 | 499,064 | 526,477 |
| その他 | 507,113 | 588,051 |
| 固定負債合計 | 1,080,167 | 1,188,519 |
| 負債合計 | 6,796,939 | 7,508,111 |
| 純資産の部 | | |
| 株主資本 | | |
| 資本金 | 3,132,976 | 3,143,675 |
| 資本剰余金 | 3,321,205 | 3,331,904 |
| 利益剰余金 | 22,555,470 | 23,042,581 |
| 自己株式 | △1,000,919 | △1,644,320 |
| 株主資本合計 | 28,008,733 | 27,873,840 |
| その他の包括利益累計額 | | |
| その他有価証券評価差額金 | 481,826 | 491,504 |
| 為替換算調整勘定 | 194,283 | 711,146 |
| 退職給付に係る調整累計額 | △16,288 | △11,990 |
| その他の包括利益累計額合計 | 659,821 | 1,190,660 |
| 非支配株主持分 | 166,362 | 187,948 |
| 純資産合計 | 28,834,917 | 29,252,450 |
| 負債純資産合計 | 35,631,857 | 36,760,561 |

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

| | 前第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日) | 当第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日) |
|------------------|---|---|
| 売上高 | 9,598,414 | 10,179,157 |
| 売上原価 | 6,026,669 | 6,056,552 |
| 売上総利益 | 3,571,745 | 4,122,604 |
| 販売費及び一般管理費 | 2,647,854 | 3,059,549 |
| 営業利益 | 923,890 | 1,063,055 |
| 営業外収益 | | |
| 受取利息 | 4,119 | 27,539 |
| 受取配当金 | 18,944 | 17,677 |
| 受取賃貸料 | 17,076 | 16,613 |
| 為替差益 | — | 17,427 |
| 雇用調整助成金 | 48,988 | 27,825 |
| 太陽光売電収入 | 7,046 | 6,759 |
| その他 | 33,446 | 76,279 |
| 営業外収益合計 | 129,621 | 190,123 |
| 営業外費用 | | |
| 支払利息 | 9,539 | 8,306 |
| 為替差損 | 32,178 | — |
| 太陽光売電原価 | 4,263 | 3,756 |
| その他 | 14,491 | 3,274 |
| 営業外費用合計 | 60,472 | 15,337 |
| 経常利益 | 993,039 | 1,237,840 |
| 特別損失 | | |
| 固定資産売却損 | — | 13,148 |
| 特別損失合計 | — | 13,148 |
| 税金等調整前四半期純利益 | 993,039 | 1,224,692 |
| 法人税等 | 222,108 | 400,446 |
| 四半期純利益 | 770,930 | 824,246 |
| 非支配株主に帰属する四半期純利益 | 2,168 | 21,300 |
| 親会社株主に帰属する四半期純利益 | 768,762 | 802,945 |

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

| | 前第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日) | 当第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日) |
|-----------------|---|---|
| 四半期純利益 | 770,930 | 824,246 |
| その他の包括利益 | | |
| その他有価証券評価差額金 | 52,682 | 9,677 |
| 為替換算調整勘定 | △160,493 | 517,148 |
| 退職給付に係る調整額 | 7,111 | 4,298 |
| その他の包括利益合計 | △100,699 | 531,124 |
| 四半期包括利益 | 670,231 | 1,355,370 |
| (内訳) | | |
| 親会社株主に係る四半期包括利益 | 669,007 | 1,333,784 |
| 非支配株主に係る四半期包括利益 | 1,224 | 21,586 |

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、2021年3月8日開催の取締役会決議に基づき、当第2四半期連結累計期間において自己株式494,200株の取得を行いました。この結果、当第2四半期連結累計期間において、単元未満株式の買取りによる取得も含め自己株式が643,400千円増加し、当第2四半期連結会計期間末において自己株式が1,644,320千円となっております。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

税金費用については、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(会計方針の変更)

(収益認識に関する会計基準等の適用)

「収益認識に関する会計基準」（企業会計基準第29号 2020年3月31日。以下「収益認識会計基準」という。）等を第1四半期連結会計期間の期首から適用し、約束した財又はサービスの支配が顧客に移転した時点で、当該財又はサービスと交換に受け取ると見込まれる金額で収益を認識することといたしました。これにより、ポンプ事業については、従来、主に出荷又は検収時に収益を認識しておりましたが、一定の期間にわたり充足される履行義務については、履行義務の充足に係る進捗度を見積り、当該進捗度に基づき収益を一定の期間にわたり認識する方法に変更しております。また、電子部品事業については、従来、売上原価としていた一部の費用について、顧客に支払われる対価として、売上高から減額する方法に変更しております。

収益認識会計基準等の適用については、収益認識会計基準第84項ただし書きに定める経過的な取扱いに従っており、第1四半期連結会計期間の期首より前に新たな会計方針を遡及適用した場合の累積的影響額を、第1四半期連結会計期間の期首の利益剰余金に加減し、当該期首残高から新たな会計方針を適用しております。また、収益認識会計基準第86項また書き(1)に定める方法を適用し、第1四半期連結会計期間の期首より前までに行われた契約変更について、すべての契約変更を反映した後の契約条件に基づき、会計処理を行い、その累積的影響額を第1四半期連結会計期間の期首の利益剰余金に加減しております。

この結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は204,892千円減少し、売上原価は158,401千円減少し、営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益はそれぞれ46,491千円減少しております。また、利益剰余金の当期首残高は37,663千円増加しております。

収益認識会計基準等を適用したため、前連結会計年度の連結貸借対照表において、「流動資産」に表示していた「受取手形及び売掛金」は、第1四半期連結会計期間より「受取手形、売掛金及び契約資産」に含めて表示することといたしました。なお、収益認識会計基準第89-2項に定める経過的な取扱いに従って、前連結会計年度について新たな表示方法により組替えを行っておりません。さらに、「四半期財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準第12号 2020年3月31日）第28-15項に定める経過的な取扱いに従って、前第2四半期連結累計期間に係る顧客との契約から生じる収益を分解した情報を記載しておりません。

(時価の算定に関する会計基準等の適用)

「時価の算定に関する会計基準」（企業会計基準第30号 2019年7月4日。以下「時価算定会計基準」という。）等を第1四半期連結会計期間の期首から適用し、時価算定会計基準第19項及び「金融商品に関する会計基準」（企業会計基準第10号 2019年7月4日）第44-2項に定める経過的な取扱いに従って、時価算定会計基準等が定める新たな会計方針を、将来にわたって適用することといたしました。これによる四半期連結財務諸表に与える影響はありません。

(四半期貸借対照表に関する注記)

偶発債務

当社が販売したキャンドモータポンプの一部の機種について、不適切な性能試験のもとで製品の出荷が行われていたことが判明し、出荷先のお客様と対応費用の負担等に係る協議を行っております。今後の交渉状況等によっては当社グループの連結業績に影響が生じる可能性があります。現時点ではその影響額を合理的に見積りすることは困難であり、四半期連結財務諸表には反映しておりません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間（自2020年4月1日 至2020年9月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

| | 報告セグメント | | | その他 (注) | 合計 |
|-------------------|-----------|----------|-----------|------------|-----------|
| | ポンプ事業 | 電子部品事業 | 計 | | |
| 売上高 | | | | | |
| 外部顧客への売上高 | 8,738,911 | 646,226 | 9,385,138 | 213,275 | 9,598,414 |
| セグメント間の内部売上高又は振替高 | — | — | — | — | — |
| 計 | 8,738,911 | 646,226 | 9,385,138 | 213,275 | 9,598,414 |
| セグメント利益又は損失(△) | 1,037,062 | △158,502 | 878,560 | 45,330 | 923,890 |

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、特殊機器を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位：千円)

| 利益 | 金額 |
|-----------------|---------|
| 報告セグメント計 | 878,560 |
| 「その他」の区分の利益 | 45,330 |
| 四半期連結損益計算書の営業利益 | 923,890 |

Ⅱ 当第2四半期連結累計期間（自2021年4月1日 至2021年9月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位：千円)

| | 報告セグメント | | | その他 (注) 1 | 合計 |
|-------------------|-----------|---------|-----------|--------------|------------|
| | ポンプ事業 | 電子部品事業 | 計 | | |
| 売上高 | | | | | |
| 日本 | 3,212,823 | 761,679 | 3,974,502 | 248,509 | 4,223,012 |
| 欧米 | 2,286,878 | — | 2,286,878 | — | 2,286,878 |
| アジア | 3,669,266 | — | 3,669,266 | — | 3,669,266 |
| 顧客との契約から生じる収益 | 9,168,968 | 761,679 | 9,930,647 | 248,509 | 10,179,157 |
| 外部顧客への売上高 | 9,168,968 | 761,679 | 9,930,647 | 248,509 | 10,179,157 |
| セグメント間の内部売上高又は振替高 | — | — | — | — | — |
| 計 | 9,168,968 | 761,679 | 9,930,647 | 248,509 | 10,179,157 |
| セグメント利益 | 1,026,611 | 3,845 | 1,030,456 | 32,599 | 1,063,055 |

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、特殊機器を含んでおります。

2. 売上高は当社及び連結子会社の所在する国又は地域に分類しております。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容（差異調整に関する事項）

(単位：千円)

| 利益 | 金額 |
|-----------------|-----------|
| 報告セグメント計 | 1,030,456 |
| 「その他」の区分の利益 | 32,599 |
| 四半期連結損益計算書の営業利益 | 1,063,055 |

3. 報告セグメントの変更等に関する事項

「会計方針の変更」に記載のとおり、第1四半期連結会計期間の期首から収益認識会計基準等を適用し、収益認識に関する会計処理方法を変更したため、事業セグメントの利益又は損失の算定方法を同様に変更しております。

当該変更により、従来の方法に比べて、当第2四半期連結累計期間の「ポンプ事業」の売上高は137,010千円減少、セグメント利益は46,491千円減少しております。また、「電子部品事業」の売上高は67,882千円減少しておりますが、セグメント利益に影響はありません。

3. 補足情報

生産、受注及び販売の状況

① 生産実績

当第2四半期連結累計期間の生産実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

| セグメントの名称 | 当第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日) | 前年同期比 (%) |
|---------------|---|-----------|
| ポンプ事業 (千円) | 9,648,653 | 8.0 |
| 電子部品事業 (千円) | 761,685 | 17.9 |
| 報告セグメント計 (千円) | 10,410,338 | 8.6 |
| その他 (千円) | 178,942 | 11.8 |
| 合計 (千円) | 10,589,281 | 8.7 |

(注) 1. 金額は、販売価格によっております。
2. 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

② 受注状況

当第2四半期連結累計期間の受注状況をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

| セグメントの名称 | 受注高 (千円) | 前年同期比 (%) | 受注残高 (千円) | 前年同期比 (%) |
|----------|------------|-----------|-----------|-----------|
| ポンプ事業 | 10,828,174 | 20.1 | 9,361,182 | 9.2 |
| 電子部品事業 | 757,810 | 8.8 | 160,667 | △0.8 |
| 報告セグメント計 | 11,585,985 | 19.3 | 9,521,849 | 9.0 |
| その他 | 202,057 | △11.6 | 97,609 | △5.8 |
| 合計 | 11,788,042 | 18.6 | 9,619,459 | 8.8 |

(注) 1. 金額は、販売価格によっております。
2. 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

③ 販売実績

当第2四半期連結累計期間の販売実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

| セグメントの名称 | 当第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日) | 前年同期比 (%) |
|---------------|---|-----------|
| ポンプ事業 (千円) | 9,168,968 | 4.9 |
| 電子部品事業 (千円) | 761,679 | 17.9 |
| 報告セグメント計 (千円) | 9,930,647 | 5.8 |
| その他 (千円) | 248,509 | 16.5 |
| 合計 (千円) | 10,179,157 | 6.1 |

(注) 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。